これは便利
ガス抜きキャップ付
特許 No.2941761

アサヒペン

New 回しやすい
パターン変更ノズル付

サビの上から そのまま塗れる

油性 高耐久 鉄部用 スプレー

●屋内外の鉄部鉄製品

速乾タイプ

サビ落とし 不要

特殊 サビドメ剤 配合

※ポロポロと取れるようなサビは取り除く必要があります。

ガルバリウム鋼板
トタンべい
アルミ建材
ステンレス製品
にも塗れる！

標準塗り面積（1回塗り）	乾燥時間
1.1～1.3㎡（タタミ0.6～0.8枚分）	夏期／1.5～2時間 冬期／5～6時間

鉛 無鉛塗料
鉛・クロム化合物は使用していません。

300ml

注意書きをよく読んでから使用して下さい。

商品名 油性高耐久鉄部用スプレー

品名 合成樹脂塗料

成分 合成樹脂（シリコンアクリル樹脂）、顔料、サビドメ剤、有機溶剤

使用方法 ①塗る面のゴミ、油分、ポロポロと取れるようなサビ・カビ・ワックス等をとります。②塗料がついて困る周囲は、マスキングテープなどでおおいます。③使用するときは、容器を充分に振り（かくはん球の音が聞こえてから約30秒間）、よく混ぜます。使用中もときどき振り動かして中身をよく混ぜます。④塗料を吹きつけるとき、塗る面と噴出口との間は15～25cmの間隔をとります。⑤目立たない部分で試し塗りをして噴射の状態、色、乾燥性、下地への影響、密着性などをよく調べて異常がないことを確かめてから塗ります。⑥一度に厚塗りをしないで、塗る面と平行に移動しながら、ややうすめにまんべんなく2～3回ぐらい塗り重ねます。一度に厚塗りするとタレることがあります。⑦塗り重ねる場合は夏期4時間（冬期8時間）以上おいてから塗ります。乾燥が不充分な状態で塗り重ねると塗膜がシワ状に浮き上がることがあります。⑧使用後は、噴射口がつまらないように必ず容器をさかさにして2秒くらい空吹きし、噴出口をよく拭いてからキャップをします。

用具の手入れ方法 塗料が乾かないうちにペイントうすめ液で洗って下さい。

保管上の注意 ①幼児の手が届かないところに保存し、子供が誤飲・誤食・いたずらをしないように注意して下さい。②中身が漏れたり破裂する危険がありますので、湿った場所などサビやすいところや、直射日光のあたるところ・自動車内・暖房器具の周辺などの温度が高くなるところには置かないで下さい。

取扱い上の注意 ①表示の用途以外には使用しないで下さい。②自動車やバイクの補修、テーブルの天面などには適しません。③体調の悪いときやアレルギー・化学物質に敏感な人は使用しないで下さい。④取扱い中は必要に応じてマスクや保護メガネ、手袋（ポリ手袋など塗料が浸透しないもの）を使用して下さい。炎症を起こす恐れがありますので、皮膚に触れないようにして下さい。また吸い込んだり、目に入らないように注意して下さい。⑤有機溶剤が含まれているので、塗装中・乾燥中ともに換気をよくして下さい。⑥塗料を吹きつけるときは、人や物にかからないよう注意して下さい。塗料が衣服につくと取れません。⑦天気の良い湿度の低い日に塗って下さい。また、結露する時期には早めに塗り終えて下さい。⑧塗料は楕円形に噴射されますが、塗料の出る白い部分をまわすことによって縦型にも横型にもかえられます。⑨容器を逆さにした状態では吹きつけできません。⑩薄く塗りすぎると防錆性等の効果が充分に得られません。また、一度に厚塗りすると乾燥に長期を要することがあります。⑪塗る面にワックスや油脂分が残っていると乾かないことがあります。⑫塗り面積・乾燥時間・色・ツヤは、塗る素材・気象条件の違いなどにより多少異なります。⑬表示してある色は、実際の色と多少異なります。⑭塗膜がシワ状に浮き上がるので、ラッカー系塗料は上塗りできません。⑮使用後の空吹き・噴出口についた塗料の拭き取りをしないと、詰まりを生じて再使用できないことがあります。⑯やむをえず中身の塗料を捨てるときは、火気のない屋外で、新聞紙などに塗り広げ、完全に乾かしてから一般ゴミとして処分して下さい。⑰容器を捨てる際には、容器下部の表示に従って中のガスと塗料を充分に抜き、他のゴミとはっきり区別して捨てて下さい。⑱容器を落下させると中身が吹き出すことがありますので、取扱いには注意して下さい。

危険

●引火性あり ●皮膚刺激 ●アレルギー性皮膚反応のおそれ
●臓器の障害 ●呼吸器への刺激のおそれ
●眠気やめまいのおそれ ●水生生物に非常に強い毒性

救急処置

●目に入った場合には、直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
●皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときは、医師の診察を受けて下さい。
●蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。

火気と高温に注意

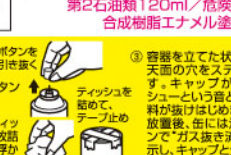
高圧ガスを使用した可燃性の製品であり、危険なため、下記の注意を守ること。①炎や火気の近くで使用しないこと。②火気を使用している室内で大量に使用しないこと。③高温にすると破裂の危険があるため、直射日光の当たる所や火気等の近くなど温度が40度以上となる所に置かないこと。④火の中に入れないこと。⑤使い切って捨てること。
高圧ガス：DME

第2石油類120ml／危険等級Ⅲ／火気厳禁
合成樹脂エナメル塗料（A-053）

ガス抜きキャップの使い方

注意事項
① 必ず中身を使い切ってから行って下さい。
② 火気のない屋外で行って下さい。
③ 塗料が飛び散って困る差し支えないところで行って下さい。
④ 容器が倒れないよう平らな場所で行って下さい。

ガス抜きの方法
① スプレーから押しボタンを引き抜きます。
② キャップの内側にティッシュペーパーを5～6枚詰め、セロハンテープで浮かないように止めます。
③ 容器を立てた状態で、キャップを逆さにし、天面の穴をステムに合わせて押し込みます。キャップが固定されるとシューという音とともにガスと塗料が抜けはじめます。2～3時間放置後、缶には油性ペンで"ガス抜き済"と表示し、キャップと分別廃棄して下さい。



株式会社 アサヒペン
大阪市鶴見区鶴見4-1-12
http://www.asahipen.jp
お客様相談室 ☎06-6934-0300

日本製
00-1501

キャップ：プラスチック(PP)
フィルム：プラスチック(PP)
ボタン：プラスチック(PE)
容器：スチール